

確定申告書の記載手順

記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】(4～13ページ)に基づいて作成した「申告書第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」を示して、申告書の記載手順を説明します。
 - 記載手順は、矢印と番号(①～⑦)で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、4ページから15ページをご覧ください。
- なお、「確定申告書」の作成に先立って、「山林所得収支内訳書(計算明細書)」(国税庁ホームページからダウンロードできます。)を作成します。

(手書きした部分は、便宜上、青色で表示しています。)

申告書記載に当たって

記載に当たっては、次の点にご留意ください。

- 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください(消せるボールペンは使用しないでください。)。なお、複写式となっている申告書は、2枚目(控用)を取り外して使用しても差し支えありません。
 - フリガナは、濁点「」半濁点「」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
 - マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
- 【記載例】 縦線1本 隙間を空ける 上に突き抜ける 角を作る
- 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる
- 【記載例】 (金額が1,234,500,000円の場合)
- 1 2 3 4 5 0 0 0 0 0
- 【記載例】 配当 ① 1 2 3 0 0 0 0 給与 ② 2 3 0 0 0 0 0
- 4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

記載手順

記載手順

- 「山林所得収支内訳書(計算明細書)」を作成します。(4～5、14～15ページ参照)
- 第一表の収入金額等と所得金額等の箇所を書きます。(6～7ページ参照)
- 第二表を作成します。第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。(第二表の記載例は、8ページを参照してください。)
- 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。(9ページ参照)
- 第三表の山林の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。(10～11ページ参照)
- 第三表の税金の計算の箇所を書きます。(12ページ参照)
- 第一表の税金の計算、その他などの箇所を書きます。(13ページ参照)

申告書第一表

令和05年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書

整理番号 FA2203

納税地 令和05年2月16日 令和05年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書

現在の住所又は居所 事務所等 令和05年10月1日現在の住所

フリガナ オオサカ タロウ

氏名 大阪 太郎

職業 会社員

世帯主の氏名 大阪太郎 本人

電話番号 勤務先 携帯 自宅

収入金額等

所得金額等

税金の計算

その他

山林所得収支内訳書(計算明細書)

譲渡者 住所 Y市〇〇町1-10 氏名(フリガナ) オオサカ タロウ 電話番号(×××) △△△-〇〇〇〇

買主 住所 氏名

合 計 内

申告書第三表(分離課税用)

令和05年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

整理番号 1 番号

特 例 適 用 条 文

住 所 Y市〇〇町1-10

氏 名 大阪 太郎

収入金額

所得金額

税金の計算

その他

第三表は、申告書の第一表・第二表と一緒に提出してください。